愛知教育大学 未来共創プラン

未来の教育を共に創る

VISION

愛知教育大学は、
子どもと共に、
学生と共に、
社会と共に、
附属学校園と共に、
未来の教育を創ります。

『未来の教育』を考える上では、これからの未来を担う子どもたちをはじめとした様々なステークホルダーの声を受けとめ、開かれた大学として共に前進していくことが不可欠であると考え、ビジョンに明記しました。

HPはこちら

3つの目標と9つの戦略

愛知教育大学のビジョンの実現に向けて、重点的に取り組む道筋を3つの目標として掲げ、目標を達成するために具体的な行動の方針として9つの戦略を立てました。

目標1
子どもや学生、社会との対話や協働を通して、現代的教育課題の解決に貢献し、より質の高い教員及び教育支援専門職の養成を実現します。

戦略1 「子どもキャンパスプロジェクト」
大学及びその周辺地域を「学び」と「遊び」を一体化できるエリアとして、実践フィールドと実践プログラムを提供します。

戦略2 「教育のプラットフォーム構築プロジェクト」
教育リソースデータバンクを設置し、教育現場の課題解決に貢献する教育のプラットフォームを構築します。

戦略3 「教職の魅力共創プロジェクト」
よりよい教育の未来につながる教職の魅力を共に創り出し、発信します。

戦略4 「グローバル化推進プロジェクト」
協定校を始めとする海外の教育機関との連携を密にして、グローバル化に対応したプログラムを学部と大学院で整備します。

目標2
大学と附属学校園との連携強化を図ることで、より質の高い教員研修を実現します。

戦略5 「共創的探究活動指導力育成プロジェクト」
附属学校園と教職大学院との連携を強化し、教育の実践的研究拠点を構築します。

戦略6 「大学・附属学校園連携推進プロジェクト」
教育委員会や教育現場等との緊密な連携を通して、附属学校園が今後の公立学校等のモデルとなる実証研究に取り組みます。

目標3
広域拠点型教員養成系大学としての意義と価値を高めます。

戦略7 「教科横断探究プロジェクト」
教科等横断し、協働的に学び合う次世代型プログラムを開発するとともに、教育効果を客観的に検証する評価システムを構築し、学生の資質向上や大学の授業改善につなげます。

戦略8 「IR・教職協働の推進」
IR部門を活用して得られた学内外の客観的なデータに基づき、戦略的な大学運営を行うとともに、教職員が協働して柔軟な組織運営を行います。

戦略9 「大学間ネットワークの構築」
国公私立大学と連携協定を締結して、教職大学院を核としたネットワークを構築します。

戦略1：子どもキャンパスプロジェクト

主な活動内容
- 「学び」と「遊び」が一体化したエリアへの転換
- 学生・教職員・地域の協働で多様な興味関心を広げる機会を増加
- 遠足や校外学習等の新たな目的地としての提案
- 大学に自生している竹を活用したアクティビティーの創出と関連した体験的な教科学習
- 大学のリソースの再発見と有効活用、課題解決の推進

近隣の小学生を大学に呼んで学生と教職員が作成したプログラムを楽しんでもらう「第2回あつまれ！子どもキャンパス in 愛知教育大学」を開催しました。総勢557人（保護者除く）が参加しました。

附属岡崎小学校の3・4年生176人がペア遠足で本学を訪れ、プログラム体験や授業参加などを通じて楽しい時間を過ごしました。プログラム体験のひとつ「馬とのふれあい体験」では間近で見る馬の大きさと迫力にどきどきしながら、実際に撫でてみたり餌をあげたりしました。

井ケ谷幼児園の5歳児38人と4歳児54人によるどんぐり拾いを本学で実施しました。園児たちは拾ったどんぐりや木の実を教員やボランティア学生に見せて、「見て！見て！たくさん拾ったよ！」「あそこに虫が隠れているよ」などと積極的に話しかけていました。

戦略3：教職の魅力共創プロジェクト

主な活動内容
- 「教職の魅力共創シンポジウム」を通して、多様な立場の方々との意見交換を行う
- 教職の魅力を伝えるリーフレットや動画コンテンツを作成する
- 多様な立場の方々から原稿を募集し、シリーズ叢書『教職の魅力共創』を刊行することで、地域社会と共によりよい教育の未来につながる教職の魅力を共創する

一般社団法人国立大学協会との共催で2022年度大学改革シンポジウム「学校・メディア・大学で共創する教育の未来」を開催しました。

多様な観点や立場から、教職の魅力を語っていただく動画を公開しています。あなたにとっての魅力やロールモデルになる先生が見つかればと思います。

多様なステークホルダーが「教職の魅力」を共に高め、創り、共有していけるような場として、叢書を刊行しました。昨年度は３号と４号を発行しました。

戦略5：共創的探究活動指導力育成プロジェクト

主な活動内容
- 愛知教育大学と同附属高等学校との連携で実施される探究活動である「附高ゼミ」をフィールドとして、高校教員を目指す教職大学院生が「共創的探究活動指導力」を身に付けるとともに、高校教員が探究活動のファシリテート力をより高め、豊かにすることを目的とするプログラムの開発を行う

附属高校では令和4年度から「附高ゼミ」をスタートしました。生徒は2年生の後期、愛知教育大学の4学系に合わせて構成された8講座のなかから興味・関心に応じて所属講座を選び、自分の探究テーマについて問い・仮説を設定し探究計画を作り、３年生前期まで１年間をかけて探究活動を進めていきます。高校教員だけでなく、愛知教育大学の教員や大学院生、学生も生徒の探究活動を支援する高大連携体制を構築しています。

戦略7：教科横断探究プロジェクト

主な活動内容
- 「遠隔・オンライン教育」、「ICT を活用した、効果的な学習支援」、「探究的な学習を通じて協働的に学び合う教科等横断学習」について、調査研究を行い、次世代型教科等横断プログラムを開発する

６年一貫教員養成コースおよび教科横断探究コースの院生・学生が和歌山県の「学校法人 きのくに子どもの村学園」を訪問しました。同学園では、プロジェクトを中心とした学校カリキュラムを行っています。戦略7に包含される「教科等横断し、協働的に学び合う次世代プログラムを開発する」ための知見を深めることを目的として、同学園を見学しました。

その他戦略プロジェクト

戦略2：教育のプラットフォーム構築プロジェクト

主な活動内容
- ケーブルテレビ、教育委員会、学校現場と連携し、地域の教材コンテンツを作成する
- 教育委員会、学校現場と連携し、教員研修で活用できる授業動画を作成する
- 愛知県内のケーブルテレビと地域の教育委員会、小中学校をつなぐ教育のプラットフォームを構築する

戦略6：大学・附属学校園連携推進プロジェクト

主な活動内容
- 附属学校園に所属する研究主任クラスの教員と大学教員により構成されたプロジェクト・チームが主体となり、毎月 1 回、リモートで協議会を開催する
- 附属学校園同士の交流や大学との共同研究によってモデル授業を開発し、研究会・研修会で還元する